

自己評価結果公表シート

幼保連携型認定こども園

大釜幼稚園保育園

1 園の教育・保育目標

健康な体・健全な精神・豊かな情操の育成を教育・保育理念に、本園の目標は次の4項目を掲げる

1. 心身ともに健康で豊かな子ども
2. 友達を大切にし元気に遊ぶ子ども
3. よく見、よく聞き、よく考え、行動できる子ども
4. 仲間の中で自分の思いや考えをいうことができ、みんなで力を合わせることを大切にする子ども

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって教育・保育の質を高め、保育者自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育・保育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

| 評価項目 | 取組状況 |
|---|---|
| 幼保連携型認定こども園教育・保育要領の精神を踏まえ、園の教育・保育理念、教育・保育方針にしたがい教育・保育内容を編成する。 | 園長・主幹保育教諭を中心に協議し、編成にあたっている。 |
| 教育・保育要領、子どもの実態などをもとに考え、作成する。 | 教育及び保育の内容に関する全体的な計画は「今」の育ちの状況を理解した上で、現在進行形で修正、立案を積み重ねていくように努めている。 |
| 子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。 | 子どもの実態や興味・関心の方向を探り、指導案の作成に反映させるようにしている。 |
| 学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。 | 各学期ごとや年度末に評価・反省を発表し合っている。 |
| 子どもの良さを認め、評価する。 | 一人一人の子どもの良さ、特性に応じ、発達の課題に即した指導に努めている。 |
| あそびを通して工夫したり、友達と協力できる力を向上する。 | 仲間と一緒に遊ぶ楽しさを味わい、一つの遊びを工夫し、発展させて遊べる環境、また、思いやりをもち協力しながら活動に取り組める環境づくりに努めている。 |
| 規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行なう。 | 一日の流れの中で、基本的な生活習慣の自立を図り、意欲的に園生活を過ごすことができる適切な援助に努めている。 |
| 全職員が年に1回以上公開保育を行なう。 | 年1～2回の公開保育を行い、互いの保育を見合うことによって職員の資質向上を図っている。 |
| 各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。 | 園外研修に積極的に参加し、学んだ事を資料にまとめ、また、園内研修にて発表することで共有化を図っている。 |

| | |
|--------------------------------|------------------------------------|
| 園だより等で園の情報を発信している。 | 園の教育方針や取り組みを園だより・ホームページにて情報開示している。 |
| 保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応をはかる。 | 情報収集に努め、さらに充実した教育・保育を目指す。 |

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

園長、主幹保育教諭をはじめ、経験を重ねた保育者から保育に携わって間もない保育者まで一人一人が自らの課題と園全体としての課題双方に向き合いながら、共によりよい教育・保育を目指している。引き続き教育・保育の改善・向上に努めていって欲しい。また、ヒヤリハット対策における安全危機管理の徹底が図られており、子どもたちが健康で安全に生活できる場として引き続き安全確保を希望する。

5 今後取り組むべき課題

| 課題 | 具体的な取り組み方法 |
|-----------|---|
| 全体的な計画の編成 | 子どもの育ちにふさわしい保育が、子どもの姿に即して計画されているか反省と評価を積み重ね、よりふさわしい全体的な計画の編成に努めていく。 |
| 自己点検、自己評価 | 常に自己研鑽に努め、園の置かれている状況を踏まえた上での課題のステップアップをそれぞれ図っていく。 |
| 安全管理・健康管理 | 危機管理マニュアルを作成したが、随時改善し常に意識する事で職員の危機管理・健康管理に対する意識の徹底を図る。 |

6 学校関係者の評価

良好な運営をされ、また学校評価にも積極的に取り組まれているという意見をいただいた。

7 財務状況

公認会計士の監査により、適正に運営されていると認められている。